

## 新会長に石塚 茂樹 ソニー株式会社 代表執行役 副会長が就任

JEITAは6月1日に第10回定時社員総会を開催し、石塚 茂樹 ソニー株式会社 代表執行役 副会長が新会長に就任しました。新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、記者会見の開催は見送られましたが、プレスリリースにて、新しい常態・ニューノーマルともいえる「withコロナ」「afterコロナ」の中でSociety 5.0実現のための取り組みを加速させ、より強靱で柔軟な社会の構築に向けて全力で取り組む旨が、石塚新会長のコメントとして発表されました。

### 石塚新会長 就任にあたってのコメント

5Gの推進をはじめ、Society 5.0に向けた事業活動に尽力いただきました遠藤前会長からバトンを引き継ぎ、JEITA会長の責務を務めてまいります。1年間、よろしくお願いたします。

はじめに、新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方に哀悼の意を表するとともに、現在も最前線で対応にあたられている医療従事者の皆様、そして社会インフラを支えるすべての関係者の皆様に心より敬意を表し、深く感謝申し上げます。まさにこの未曾有の危機下において、JEITA会員企業も社会の一員としての強い使命感と思いを持って、一刻も早い収束に向けて、それぞれの立場で事業活動をしております。状況が日々刻々と変化する中、既に新型コロナウイルス感染症の拡大が人々の暮らしや働き方、グローバル経済に大きな影響を与えていますが、この新しい常態・ニューノーマルともいえる「withコロナ」「afterコロナ」の中でSociety 5.0実現のための取り組みを加速していくことがJEITAの重要なミッションであると考えています。我々は今後もより強靱で柔軟な社会の構築のために全力で取り組んでまいります。

JEITAは電子部品やデバイス、電子機器やITソリューション・サービスを中核として、他の製造業やサービス産業など業界の枠を超えて、あらゆる産業を繋げるプラットフォームの役割を担い、Society 5.0の実現を支える業界団体への変化を目指しています。そのために必要なことは、標準化や課題解決といった取り組みはもちろんのこと、広範な分野の企業の参画を得て、異なる知見や技術を持った者同士が連携し、新たな価値を共に創り出す「共創」に取り組んでいくことです。本年度はニューノーマルを支え、社会価値を共創する基盤となる5Gやデジタルトランスフォーメーション(DX)などを強力に推進するとともに、地方自治体との連携やJEITAが主催している「CEATEC」をはじめとする各種事業のオンライン展開など新たな取り組みを通じて、Society 5.0の実現に繋げてまいります。

新型コロナウイルス感染症により、先行きの不透明感や目に見えない不安が社会を覆っている今だからこそ、会員企業をはじめ、政府や関係機関と緊密に連携して、これからの新しい社会の姿を見据えた新たな市場創出に取り組むことが重要であると考えています。JEITA会長として、日本経済・日本社会、そして地球の未来のために、全力を尽くしてまいります。



代表理事／会長  
石塚 茂樹